

## 調査の概要

### (1) 調査の目的

- ア 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

### (2) 調査内容(教科に関する調査)

小学校：国語A・算数A(主として「知識」に関する問題) 国語B・算数B(主として「活用」に関する問題)  
 中学校：国語A・数学A(主として「知識」に関する問題) 国語B・数学B(主として「活用」に関する問題)

### (3) 調査対象

小学校第6学年・特別支援学校小学部第6学年(大阪府：1,021校 79,317人)  
 中学校第3学年・中等教育学校第3学年・特別支援学校中部第3学年(大阪府：450校 63,845人)

学校行事等で後日実施した学校は、全体集計に含まない。

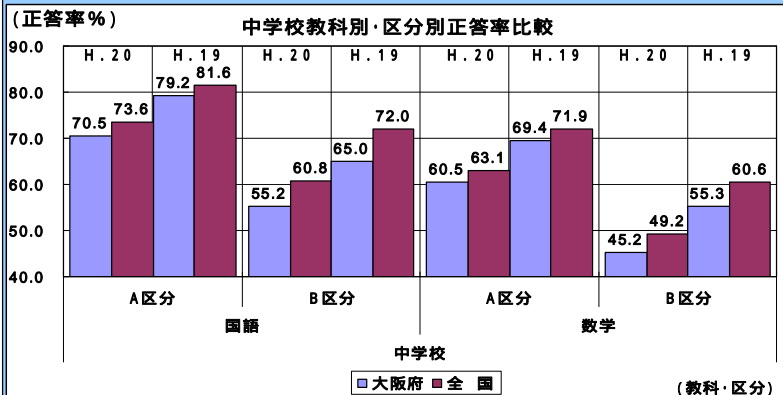
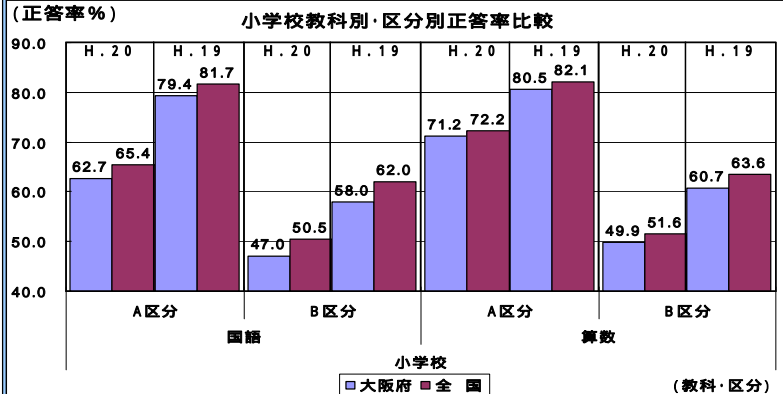
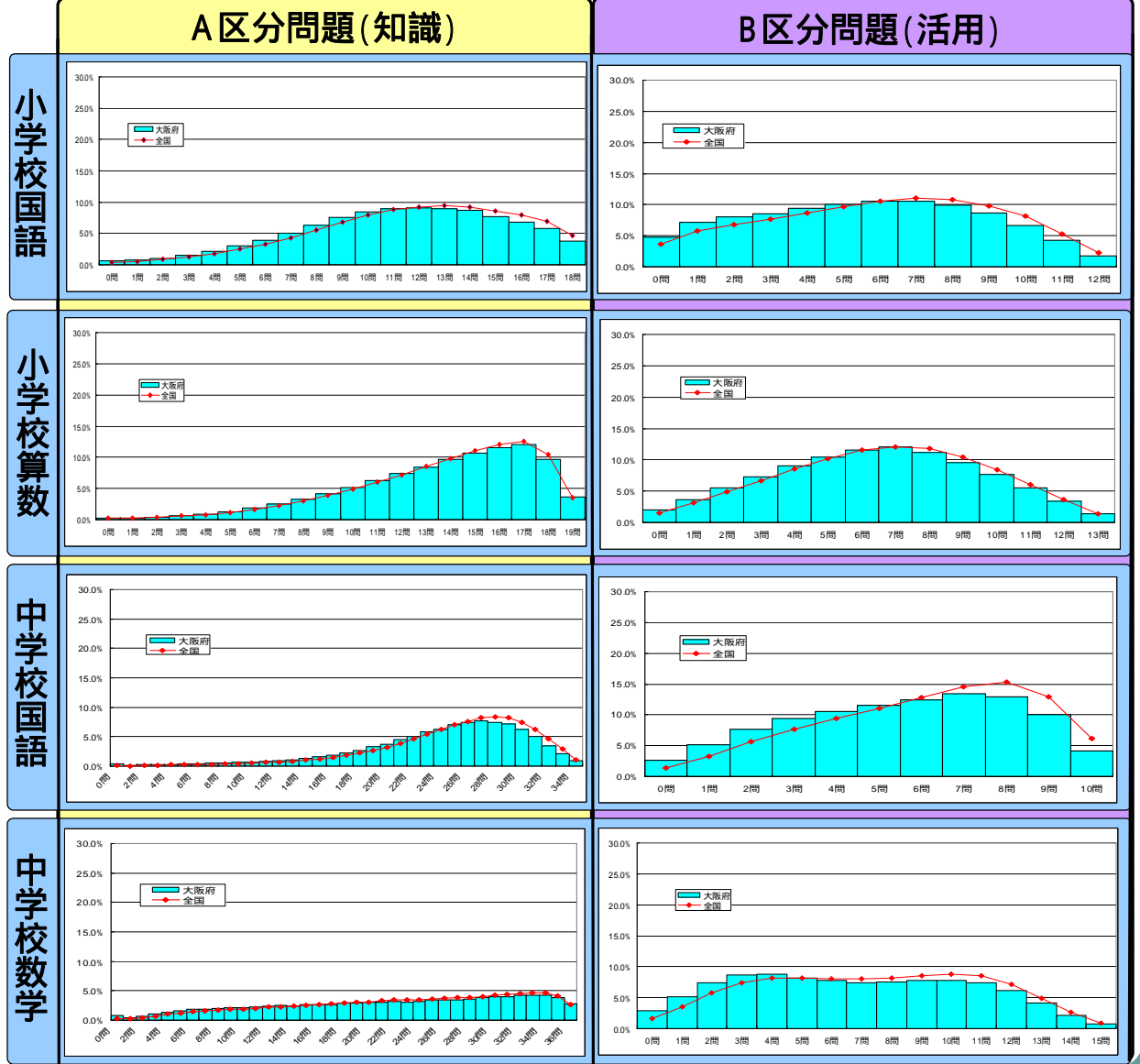
## 平成20年度調査及び結果の特徴

- ◆19年度と比べ、これまでの調査で課題の見られた内容の問題( )や解答に当たってより正確な理解が必要な問題が多い出題となっており、全体として見れば、19年度と比べやや難しい内容となっている。  
 ( )授業における具体的・体験的な活動を繰り返すことによって身に付けさせることが必要のものであり、指導の成果がすぐには表れにくいものと考えられる。
- ◆20年度調査は、19年度調査と比べやや難しい内容となっているため、単純な比較はできないが、19年度と比べ平均正答率が低くなっている。
- ◆今回出題された学習内容の知識・技能の定着に一部課題が見られる。
- ◆今回出題された学習内容に係る知識・技能を活用する力に課題がある。(文部科学省 調査結果のポイントより)

## 校種・教科・区分別正答率比較

		平成20年度			平成19年度			
		大阪府	全国	大阪府-全国	大阪府	全国	大阪府-全国	
小学校	国語	A区分	62.7	65.4	-2.7	79.4	81.7	-2.3
		B区分	47.0	50.5	-3.5	58.0	62.0	-4.0
	算数	A区分	71.2	72.2	-1.0	80.5	82.1	-1.6
		B区分	49.9	51.6	-1.7	60.7	63.6	-2.9
中学校	国語	A区分	70.5	73.6	-3.1	79.2	81.6	-2.4
		B区分	55.2	60.8	-5.6	65.0	72.0	-7.0
	数学	A区分	60.5	63.1	-2.6	69.4	71.9	-2.5
		B区分	45.2	49.2	-4.0	55.3	60.6	-5.3

## 正答数分布(横軸：正答数・縦軸：割合)



児童・生徒質問紙調査 学校質問紙調査

全国学力・学習状況調査における、学習状況を把握するためのアンケート調査

昨年度の調査結果と比較したとき、全体的には大きな変化は見られない。

以下、全国との状況との比較における特徴的な項目についての概要をのべる。

【生活の様子】

「就寝や起床の時間」、「朝食の摂取」、「学校の準備」等で望ましい状況の回答をした子どもの割合が低い。

【家庭学習の様子】

長時間学習に取り組む子どもの割合が高い反面、家庭で全く学習しない子どもの割合も高い。  
読書が好きと答えている子どもの割合が低く、まったく読書しない子どもの割合も高い。

【学校での学習の様子】

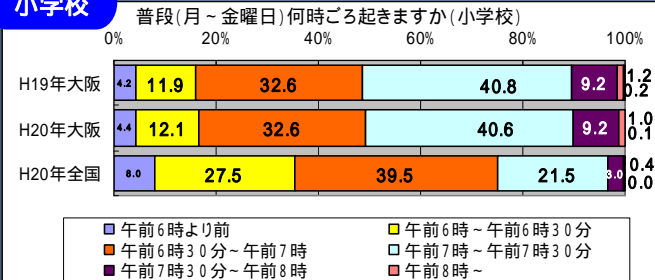
「勉強に対する熱意」「授業規律」などに課題があると答えている割合が高い。  
授業において「資料を読んで、自分の考えを話したり、書いたりする」と答えた回答の割合が低い。  
学習内容を普段の生活や自分の将来につなげていると答えた子どもの割合が低い。  
昨年度より、放課後等の補充的な学習を実施している学校の割合が高く、今年度も増加傾向にある。

【学校の状況】

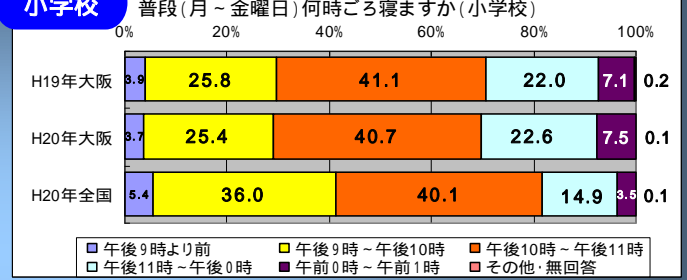
小中学校とも、就学援助を受けている児童生徒の在籍率の高い学校が多い。  
中学校での授業参観の回数が全国に比べて少ない。  
授業研究を伴う校内研修の実施回数が全国に比べて少ない。  
PTAや地域の人々の学校活動への参画状況は、やや増加傾向にあるが、全国に比べて少ない。

起床時刻が遅く、就寝時刻が遅い

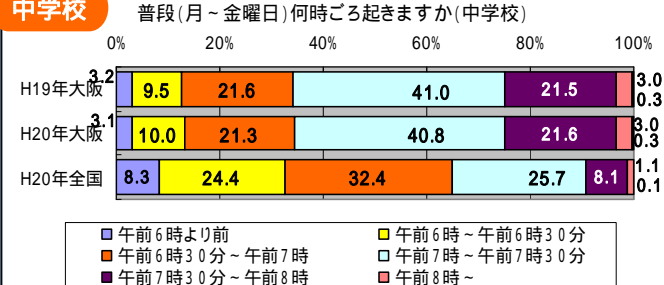
小学校



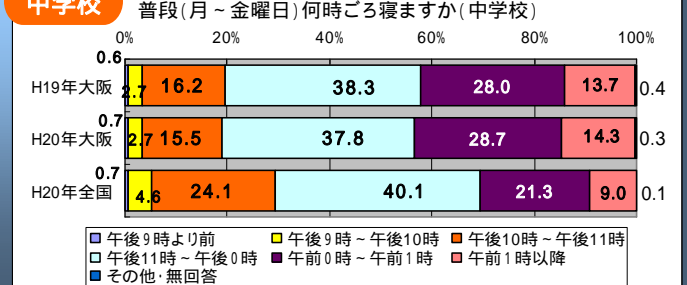
小学校



中学校

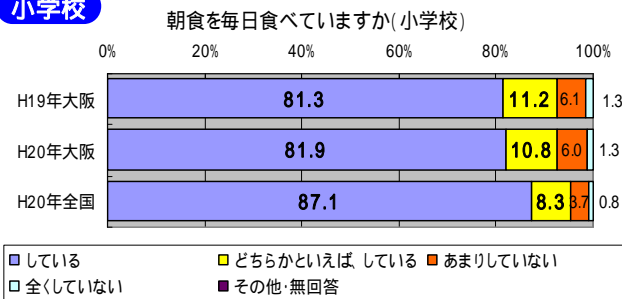


中学校



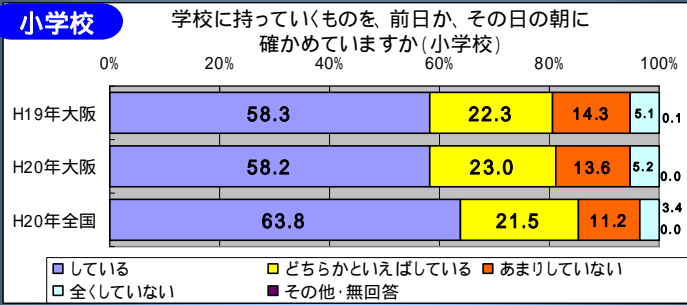
毎朝、朝食を食べている子どもの割合が低い

小学校

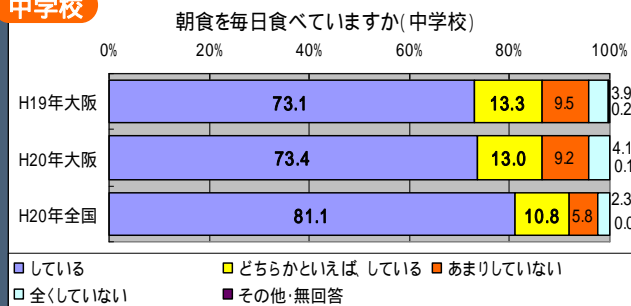


余裕をもって学校の準備を行っている子どもの割合が低い

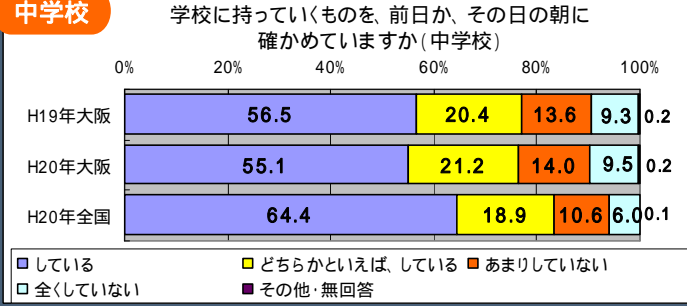
小学校



中学校



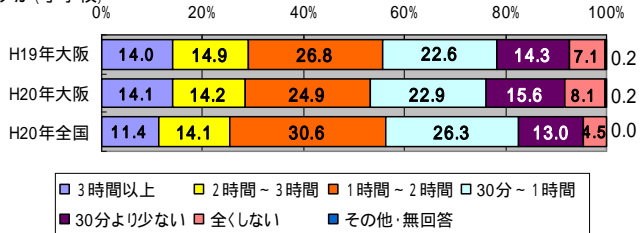
中学校



普段の家庭学習の時間は、長時間タイプと短時間タイプに分かれる傾向にある。

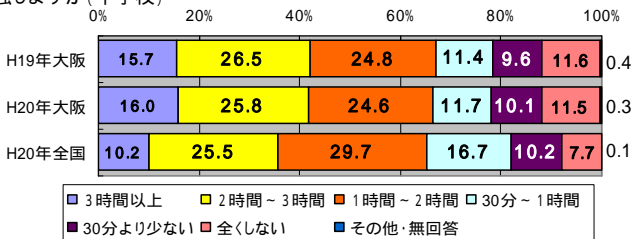
小学校

学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(小学校)



中学校

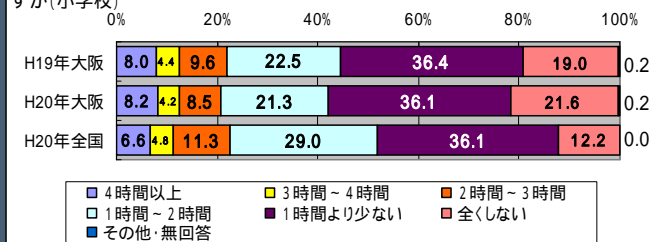
学校の授業以外に、普段(月～金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(中学校)



土曜日・日曜日に家庭学習を全くしない子どもたちの割合が高い

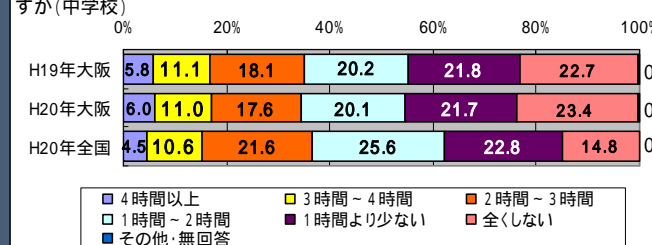
小学校

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(小学校)



中学校

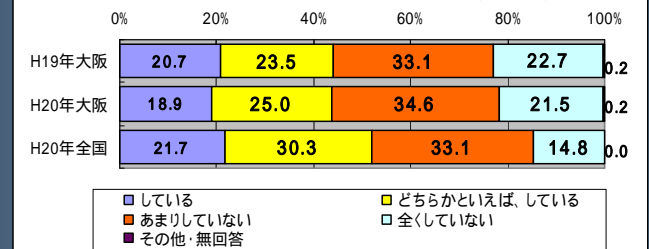
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(中学校)



学習時間を自分で決めて実行している子どもたちの割合がやや少ない

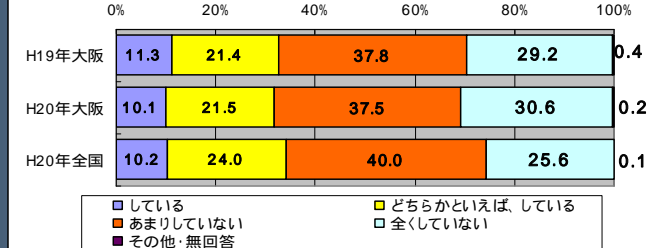
小学校

勉強する時間を自分で決めて実行していますか(小学校)



中学校

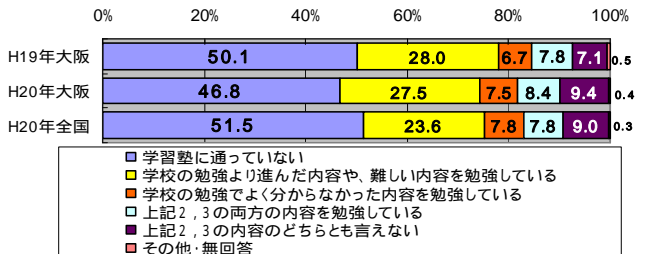
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(中学校)



学習塾等で勉強する子どもたちの割合が多い

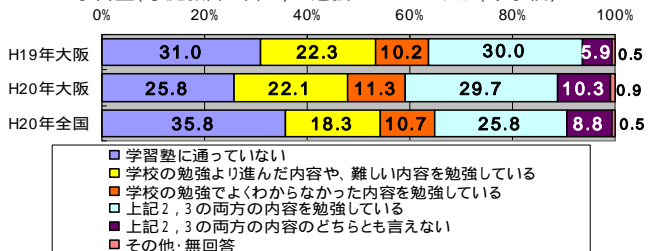
小学校

学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか(小学校)



中学校

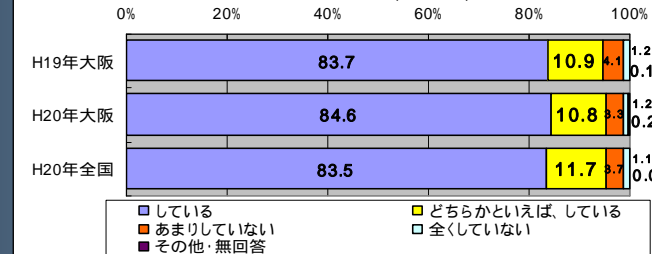
学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか(中学校)



中学生で宿題をしていない子ども割合が高い

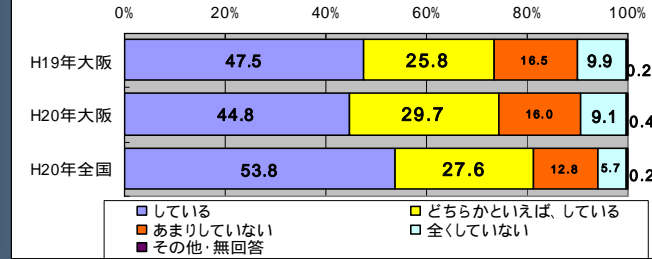
小学校

家で宿題をしていますか(小学校)



中学校

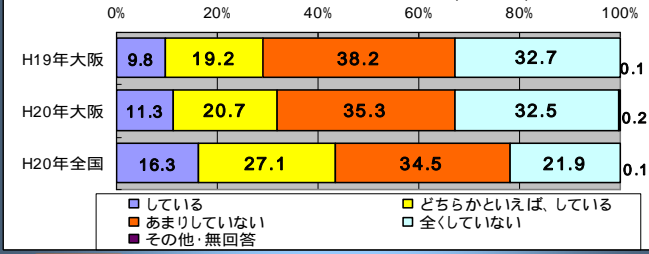
家で宿題をしていますか(中学校)



授業の復習をしていない子どもの割合が高い

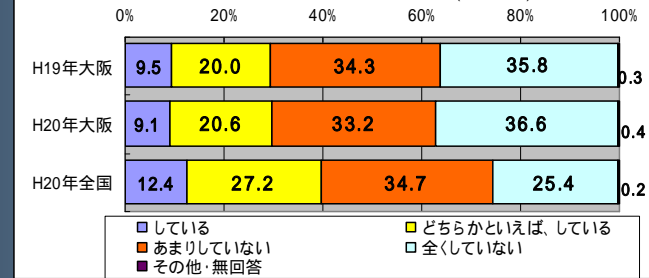
小学校

家で学校の授業の復習をしていますか(小学校)



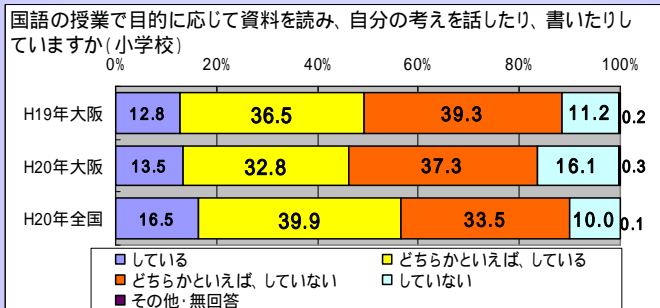
中学校

家で学校の授業の復習をしていますか(中学校)

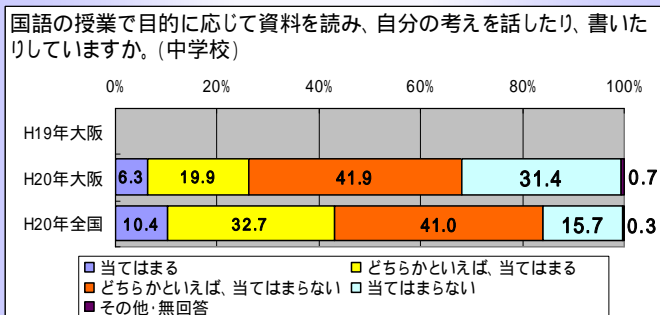


国語の授業で、自分の考えを話したり、書いたり、資料や文章を比較検討する授業が少ない

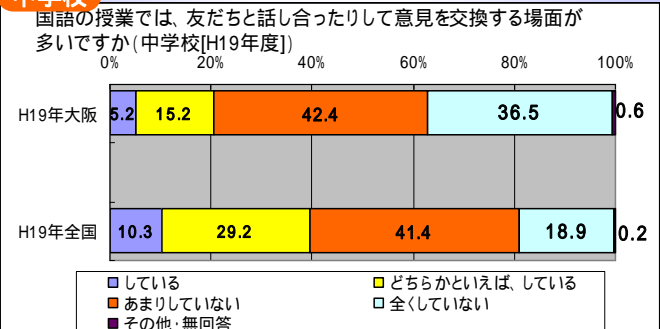
小学校



中学校



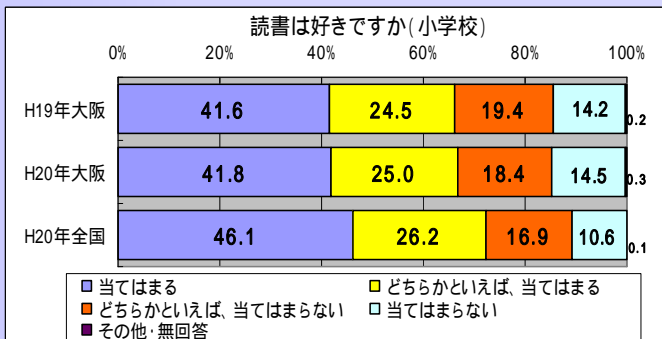
中学校



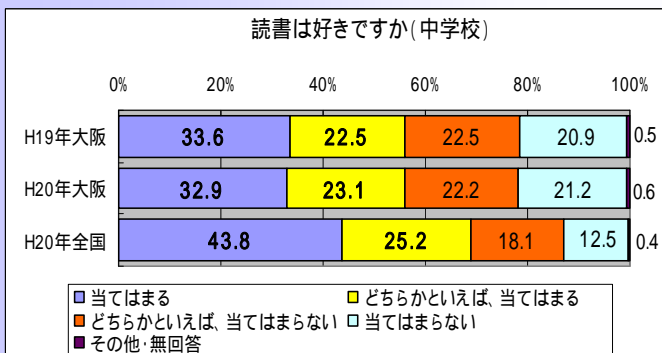
「授業内容」については、昨年度と今年度で質問が変更されているため、直接の経年比較は行っていない。

読書が好きな子どもの割合が少なく、読書習慣のない子どもの割合が多い

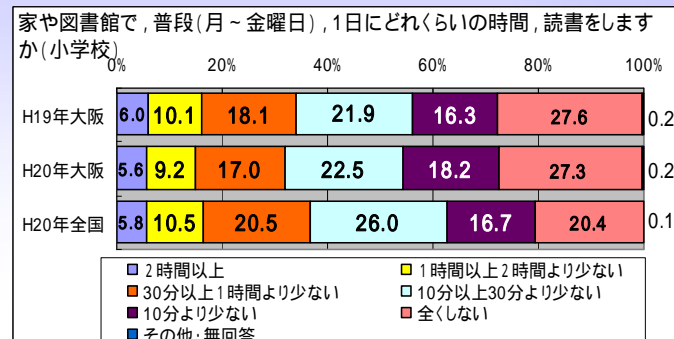
小学校



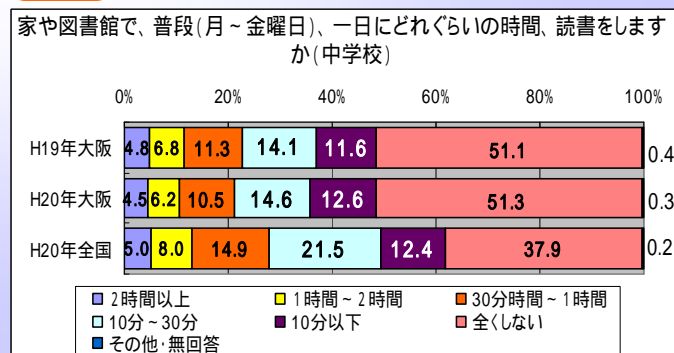
中学校



小学校

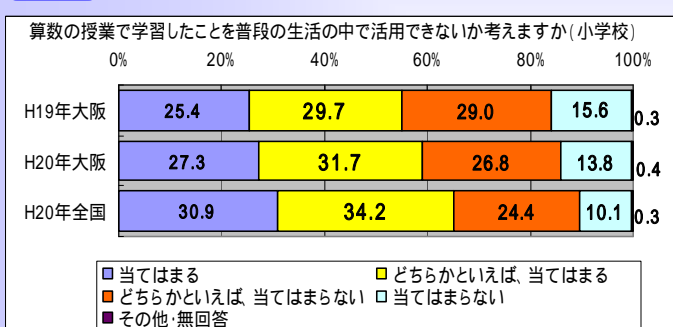


中学校

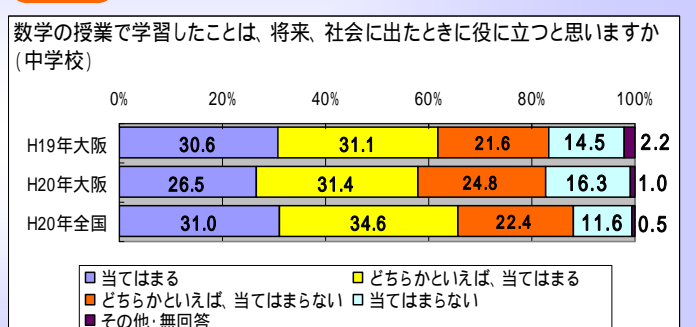


学習を普段の生活や自分将来にむすびつけて考える子どもの割合が少ない

小学校



中学校

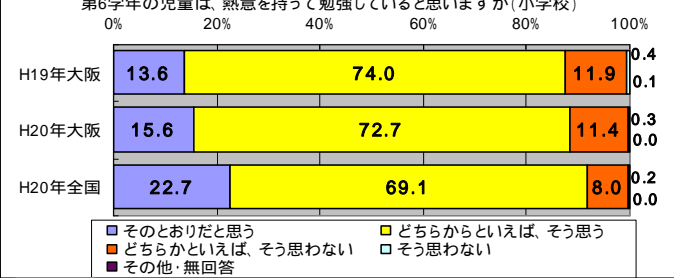


小中学校とも、児童生徒が「熱意を持って勉強している」と捉えている学校の割合は全国を下回る

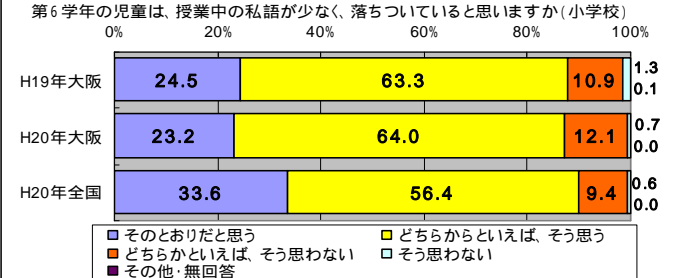
小中学校とも、児童生徒が「授業中の私語が少なく落ちついている」と捉えている学校の割合は低い

小中学校とも、児童生徒が「礼儀正しい」と捉えている学校の割合は、全国を下回る

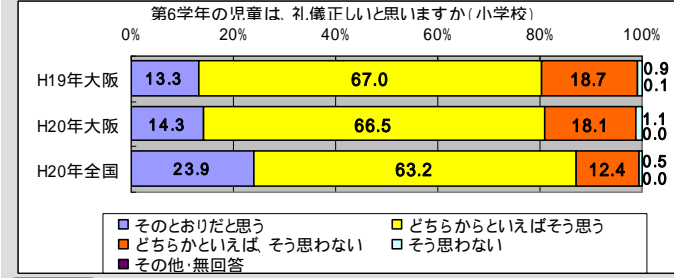
小学校



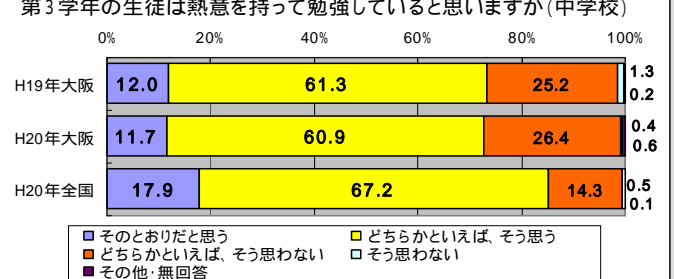
小学校



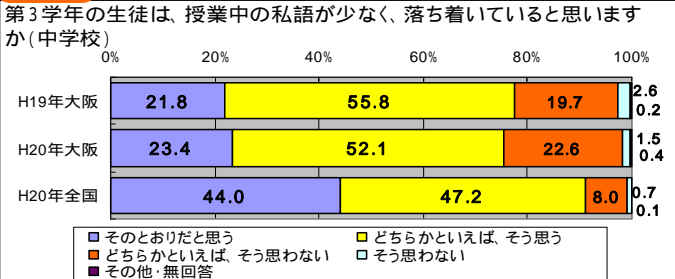
小学校



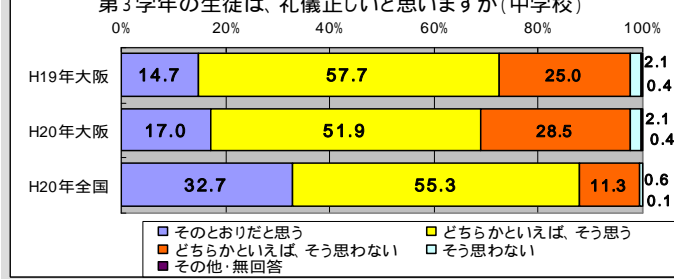
中学校



中学校



中学校

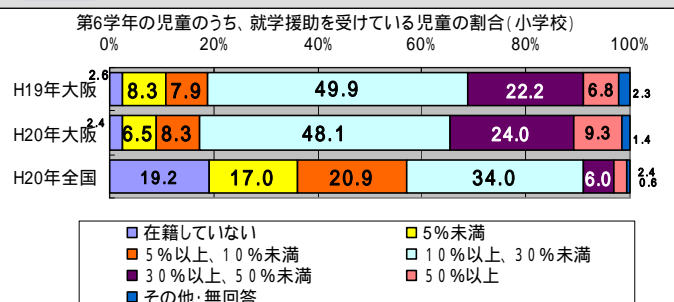


小中学校とも、就学援助を受けている児童生徒の在籍率の高い学校が多い

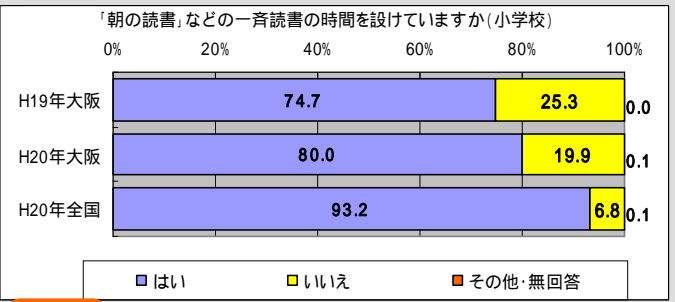
小中学校とも、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設定している学校の割合は、全国を下回る

「放課後を利用した補足的な学習サポート」の実施は、中学校では全国を上回る

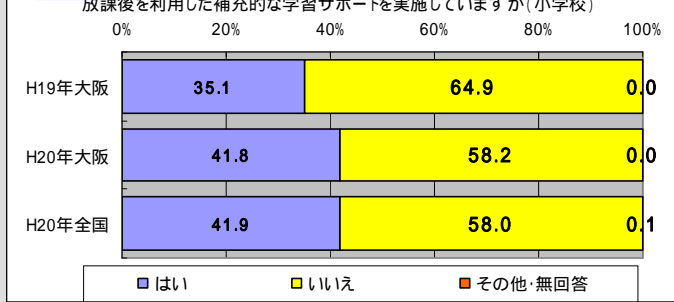
小学校



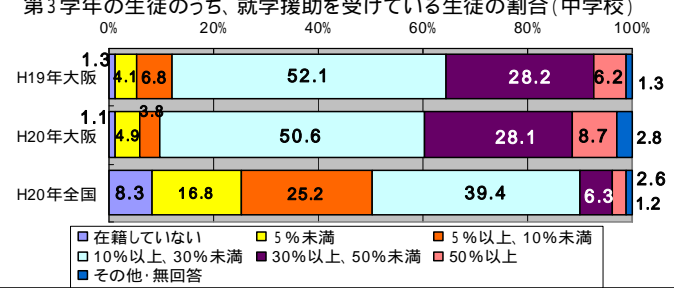
小学校



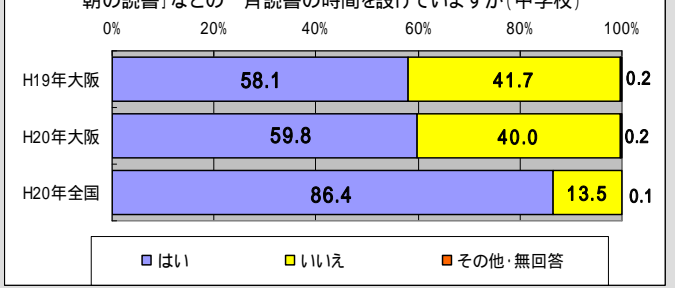
小学校



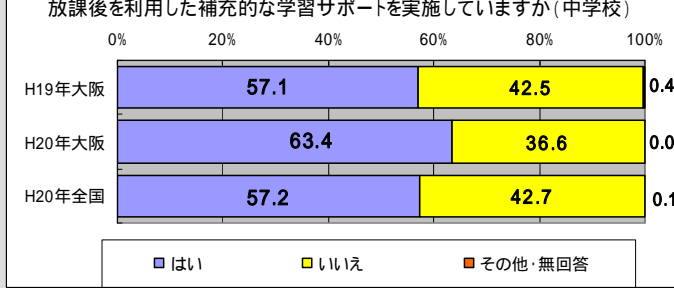
中学校



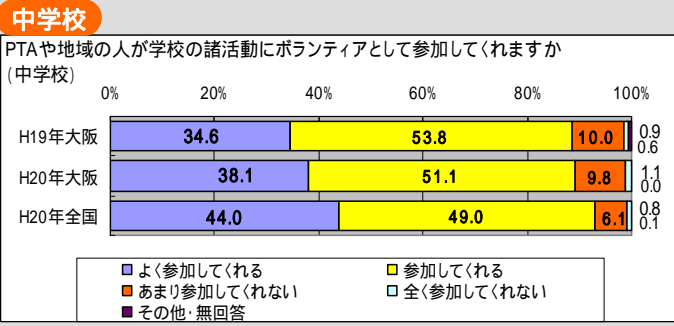
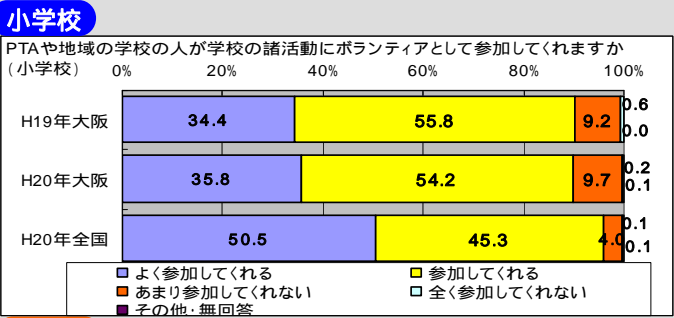
中学校



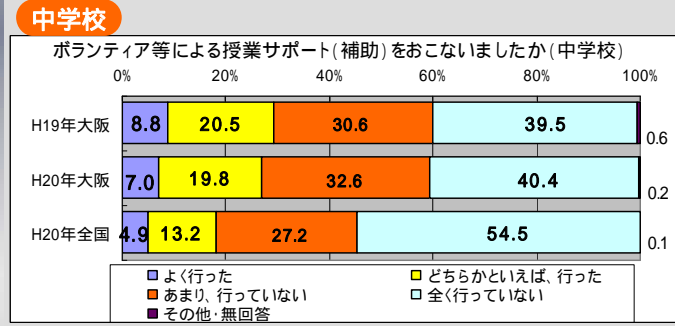
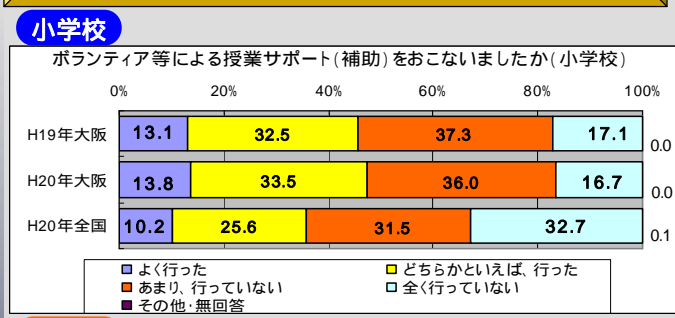
中学校



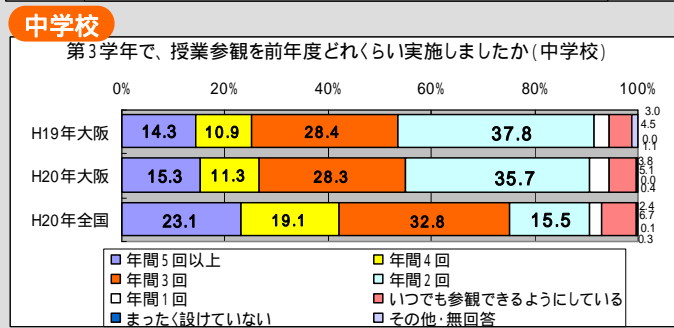
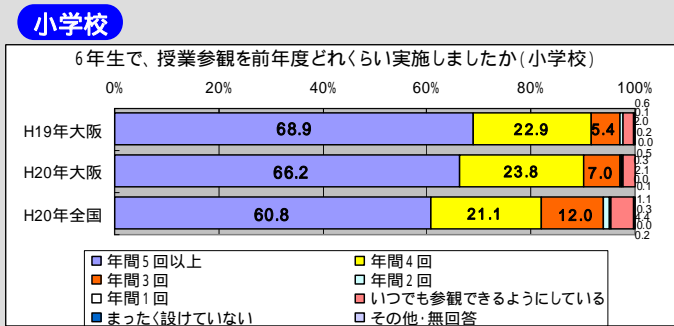
PTAや地域の人々の学校の諸活動に対するボランティアとしての参画状況は、小中学校とも全国を下回る



ボランティア等による授業サポート(補助)の実施状況は、小中学校とも全国を上回る



前年度に実施した授業参観の回数は、小学校においては全国を上回るが、中学校においては下回る。



前年度における、授業研究を伴う校内研修の実施回数は、小中学校とも全国を下回る

